



発信年月日：令和7年3月6日

所属部課名		連絡先	TEL:0837-22-3703 FAX:0837-22-3700
観光スポーツ文化部 スポーツ文化交流課			
件名	ヒストリアながと 春の企画展 が始まります		

長門市総合文化財センター(ヒストリアながと)では、展示替えを行い、3月7日から新しく企画展を開始しますので、取材につきましてよろしくお願ひします。

また2月20日からは「新長門市誕生 20 周年 尾崎眞吾 市報に使われた原画展」(5月11日(日)まで)も開催しておりますので、併せて取材についてよろしくお願ひします。

- 1 企画展開催期間 令和7年3月7日(金)～令和7年9月28日(日)  
9:00～17:00 毎週月曜日は休館日  
(月曜日が祝祭日の場合は開館、翌平日休館)

### 2 企画展内容

- (1) とのしき ただし 殿敷 侃 長門市での活動を中心に

広島で被ばくを経験し、30歳から長門市に拠点を移して亡くなるまでの20年間を長門市を拠点に活動した画家 殿敷侃の活動と作品を紹介します。

- (2) 長門のお宝 大般若経

長門市に残されている2点の大般若経は、ともに14～15世紀に書写されたもので、中世の写経は県内でも貴重なものです。経典について紹介するとともに、三隅八幡宮にある戦国時代に制作された獅子頭をご覧いただくことができます。

- (3) 近代捕鯨

古式捕鯨で栄えた長門市は、近代捕鯨発祥の地でもあります。市民からの寄贈写真などを展示し、近代捕鯨の歩みと昨年完成した最新の捕鯨母船「関鯨丸」の捕鯨方法について紹介します。

- (4) 海を渡ってきた黒曜石(令和8年3月1日(日)まで)

長門市で最も早く人々が住み始めた日置雨乞台遺跡(旧石器時代～縄文時代)からは、大分県姫島産や佐賀県腰岳産の黒曜石で作られた石鏃が発掘されており、はるか昔から交流があったことがわかります。本企画では、姫島産と腰岳産の黒曜石の原石を展示します。

### 3 入場料 無料

### 4 展示場所・問い合わせ先

長門市総合文化財センター(ヒストリアながと)  
〒759-4101 山口県長門市東深川2660番地4  
TEL:0837-22-3703

## 長門市市制20周年記念 尾崎真吾 市報に使われた原画展

2025年2月20日（木）～2025年5月11日（日）

2005年3月22日、旧長門市と大津郡三隅町・日置町・油谷町が合併して現在の長門市が始まりました。新生長門市の広報誌第1号から現在に至るまで裏表紙を飾っている「尾崎真吾のみずびギャラリー」では、童謡詩人金子みすゞの詩とともに、イラストレーター尾崎真吾氏のイラストが掲載されています。本企画では、尾崎氏の広報誌を飾ったイラスト原画とともに、長門市の20年間の歩みを振り返ります。会場では尾崎氏のイラストの他、ペン画やアニメーション作品なども紹介します。



尾崎真吾氏

1944年、山口県に生まれる。

カンザス・フォートヘイズ州立大学(USA)の大学院美術学部修士号を取得。1971年の全日本コマーシャル協議会フィルムフェスティバルにてグランプリ賞を受賞して以降、国内外で評価を受ける。

1996年、長門市西深川にギャラリー喫茶「シヨアーズ」をオープンし、同所を拠点に活動を広げる。

2018年には山口県「県選奨」を受賞。

尾崎真吾「辨天島」  
(長門市広報2020年12月号掲載)



尾崎真吾「郵便局の椿」(長門市広報2005年7月15日号掲載)

### 尾崎真吾の水さいがワークショップ

参加者募集

尾崎真吾氏を講師に迎え、水彩画の描き方を学びます。

- 開催日時 3月16日(日) 10:00～11:30  
対象 小学生(3年生以下は保護者の同伴をお願いします)  
募集人数 15人(応募多数の場合は抽選)  
参加料 無料  
場所 ヒストリアながと別館  
持ち物 絵の具、パレット、水バケツ、筆、新聞紙、ぞうきん

※画用紙はヒストリアながとで準備しています。

お申込みはコチラ ▶



殿敷侃(1942-1992)は、広島県出身の画家です。3歳の頃に被爆、20歳のときに肝臓病を患い入院した先で絵を描き始めました。広島を中心に美術展への出品を続けていましたが、30歳のときに長門市に拠点を移し、亡くなるまでの20年間を過ごしました。長門市では絵画教室を開き、地域の人々との交流を図りながら創作活動を続けました。

本展では地域に残る記録とともに長門市が所蔵する作品を展示し、長門市ゆかりの芸術家・殿敷侃について紹介します。



松岡材木店(仙崎)の壁画制作風景

## 海を渡ってきた黒曜石

2025年3月7日(金) ~ 2026年3月1日(日)

およそ1万6千年前、長門地域に最も早く人々が住み始めたとされる雨乞台遺跡(長門市日置)からは、旧石器時代から縄文時代に製作されたと考えられる多くの石器が出土しています。その中には、佐賀県の腰岳や大分県の姫島産の黒曜石を使った石器も多く見られます。本企画では、腰岳産、姫島産の黒曜石の原石を展示します。



姫島産黒曜石(右)と腰岳産黒曜石(左)  
(山口県埋蔵文化財センター蔵)

## 長門のお宝 大般若経

前期 2025年3月7日(金) ~ 2025年6月29日(日)  
後期 2025年7月5日(土) ~ 2025年9月28日(日)

長門市内には、文化財に指定された大般若経が2点あります。どちらも14~15世紀に書写されたもので、それぞれ飯山八幡宮(長門市東深川藤中)と三隅八幡宮(長門市三隅中市)に所蔵されています。この度、この2点の大般若経を前期・後期に分けて紹介し、経典が書かれた中世の長門市について理解を深めます。



三隅八幡宮

長門市総合文化財センター

## ヒストリアながと

長門市東深川 2660 番地 4 TEL 0837-22-3703 FAX 0837-22-3700

開館時間 9:00 ~ 17:00 (入館は 16:30 まで)

入館料 無料 休館日 月曜日(祝日の場合は翌平日)



最新情報は  
こちらから⇒



▲ Facebook



▲ Instagram



▲ X



▲ HP

